

とちおコミュニティ検討委員会の検討経過について

検討委員会は、今年度2回開催し、第1回は地区説明会資料の検討を行い、第2回は説明会で出された意見の共有と来年度準備委員会に移行するための検討を行い、検討委員会は今年度で終了し、来年度からコミュニティ組織が立ち上がるまでの間、とちおコミュニティ推進準備委員会を立ち上げることにしました。

『地区説明会』の実施状況について

12月5日から12月26日の間に次の9か所において、検討委員会で検討した内容について、検討委員と担当職員で資料に基づき説明を行いました。

※ 参加者は、各区長、区役員、各種団体、公民館分館長、分館運営委員など

※ 配布資料は、別添「とちおコミュニティ検討委員会検討内容について」と合併地域（みしま・よいた）のコミセン事業内容。

1. 説明会会場と参加者数

No.	日付	地区	会場	参加者数	検討委員数
1	12月5日	荷頃地区	荷頃地区センター	13人	1人
2	7日	半蔵金地区	半蔵金地区センター	20人	1人
3	8日	入東谷地区	上来伝地区センター	13人	1人
4	12日	東谷地区	産業交流センター	21人	2人
5	13日	西谷地区	まんさく活性化センター	11人	1人
6	15日	上塩谷地区	上塩地区センター	31人	1人
7	19日	中野俣地区	西中野俣地区センター	18人	1人
8	21日	下塩谷地区	皆楽荘	21人	1人
9	26日	栃尾地区	栃尾文化センター	47人	11人
合計参加者数				195人	

2. 主な質疑について

Q1 運営委員や部会員はどの様に選出するのか？

A1 それぞれ組織図の検討候補の団体から推薦いただく形で選出したい。

Q2 地区コミュニティの中の栃尾地区が入っていないのはなぜか？

A2 このコミュニティ組織が目指すのはオール栃尾のコミュニティです。組織図の運営委員会及び各部会は栃尾地域全体を検討します。事業なども町中の施設が中心となることを考えると、栃尾地区はこの組織で賄えると考えられます。

Q 3 地区コミュニティとは？

A 3 旧小学校単位で栃尾公民館には分館が8か所あり現在も活動していることと町場との距離もあることから、顔が見える範囲のコミュニティは今の分館を活かすように継続し、それぞれの地域の課題について検討します。そこにはコミセンの主事等が出向く形で地域を支援します。また、他の地域と違い栃尾地域の特色として集落維持支援も考えていきます。

Q 4 コミュニティセンターの設置についてはどこを予定しているのか

A 4 文化センターの一角を改修して設置する予定です。そこだけでは活動できないので文化センターや体育館などを必要に応じ借りて事業を行います。

Q 5 職員はどうなるのか？

A 5 コミセンの職員として、臨時職員としてセンター長1名と主事を8名要望したいと考えています。

3 意見について

- 事業に参加する場合の足の確保をお願いしたい。
 - 検討員会で検討された問題点及び課題については皆さん共通して認識しており、コミュニティ組織ができればいい方向に向かうのではないか。
 - 課題解決に向けてまずは立上げて、急には出来ない話なので徐々に進めていけば良いのではないか。
 - 公民館分館活動を実施している地区ではコミュニティ活動が加わると2つのことを実施することに負担を感じる。
 - 課題の中で人がいないと言いながら地区コミュニティをなぜ8か所にしたのか、もっと大きな範囲で設定できないのか。
 - 地区コミュニティは小さな地区で話しやすい方が良い。
- ◎ 概ね今回の組織図案で進めて行くことに理解がいただけました。